

【学校関係者評価書】（令和2年度）

園 名	奈良市立東登美ヶ丘こども園
評価者名 (学校評議員名)	中川佳子 松下知子 日野育夫 糸井康雄
学校関係者評価実施日	

大項目	中項目	目標達成状況及び取組状況について	園の取組の適切さについて	教育活動、学校経営の改善方針について
Ⅰ 教育活動に関するもの	教育目標・教育計画 教育内容・保育指導 園行事 人権教育 生徒指導 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢において特に主体的な活動と友だちとの共働を大切にする姿勢は成長が著しく見受けられ、積極的な取り組み、及び目標達成がうかがえる。 クラスの教育目標がわかりやすく家庭との共有がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に子ども達の個性を慮り、かつ集団の中においてはそれを伸ばし協調性を育てている。 難しい社会情勢の中においても園児たちの笑顔が失われていない。 園児の主体性をとても大事にされていて、手を出しすぎず問題を自分達で解決する力がつけられると感じた。 大変な1年であったが作品展など前年と変わらない立派なレベルであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた保育・教育が行われている。 普遍的な子ども時代の大切なことを核として公立園の中でも当園の特徴を打ち出してほしい。 一人一人がのびのびと活動できる見守りと家庭や地域との連携を引き続き大事にしてほしいと思います。
Ⅱ 園経営に関するもの	組織運営 研究・研修 安全管理 保健管理 地域との連携 施設・設備 情報管理	<ul style="list-style-type: none"> 園長、副園長をはじめ教職員の連携がはかられており、園の運営から教育に反映されている。 コロナ禍で制限が多岐にわたり、より教員組織の協力が必要であったと思われ、今後も大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は特に安全・保健管理に注力され、園児、保護者達も安心して保育を任せることができたと思われる。滞りなくその責を全うすることができている。 サッカー教室やお話ひろばなど地域の方との連携・未就園児保育も充実していると感じました。 コロナで接点が少なく特に問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で難しいとは思いますが小学校との交流が少しずつ戻っていくことを願っています。 園と地域のお互いの働き掛けを期待する。 今年度より評議員の構成が変更され、地域との連携にも良い効果をもたらすと考えられる。

その他の園に関する意見

- 園が必要とされるなら、地域の元気な高齢者に働きかけ、サポートチームのようなものを作ってもよいのではないか。
- 今年度はコロナの特別な年であったが、職員の研修に努め、良質なこども園のレベルを維持してください。
- 学校アプリで小学校とこども園の行事を同時に見れるのはありがたいと思う。2号認定に方も増えているので助かると思います。